

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		小中学校施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島正剛
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 谷 和浩
	基本事業	66	教育施設の整備		所属班	学務指導班	(内線) 2233
法令根拠					なし		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	成果優先度評価結果	
	1	10	2	1	10727 他	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始
						コスト削減優先度評価結果	
						6	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。							
【業務の流れ】 各種契約事務、委託料等支払い事務、業務実績確認事務							
【主な予算費目】 需用費(施設修繕費)							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持した。(軽微な修繕、除草作業、陸屋根清掃他)

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度に同じ

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
→ ア:小学校における施設修繕箇所数 箇所
イ:中学校における施設修繕箇所数 箇所

②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
小中学校

⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ ア:小学校数 校
イ:中学校数 校

③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持し、児童生徒に支障なく教育を受けてもらう。

⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
→ ア:学校の環境が良好であると感じる児童の割合 %
イ:学校の環境が良好であると感じる生徒の割合 %

④上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
適切な教育環境で教育が受けられる

⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
→ ア:耐震基準を満たした学校施設の割合 %
イ:整備計画に基づく整備率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	9,074	8,342	9,573	7,303	10,854	10,854		10,854
	(A) 事業費計		千円	9,074	8,342	9,573	7,303	10,854	10,854		10,854
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0		0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	2	2		2
延べ業務時間		時間	220	220	220	220	220	220	220		
(B)人件費計		千円	873	876	876	876	876	876	876		
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,947	9,218	10,449	8,179	11,730	11,730	11,730		
活動指標		箇所	270	276	270	161	210	210	210	目 標 計 画 22 年 度	
		箇所	130	128	150	145	150	150	150		
対象指標		校	7	7	7	7	7	7	7		
		校	3	3	3	3	3	3	3		
成果指標		%	100	100	100	100	100	100	100		
		%	100	100	100	100	100	100	100		
上位成果指標		%	73.7	92.8	78.1	92.1	95.5	98.5	98.5		
		%	54.3	63.4	70.4	70.8	79.3	90.6	90.6		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
校舎施設を維持し、教育環境を良好な状態に維持するために開始された

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
校舎建築後ある程度年数が経過すれば、施設維持費は増加してくる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	小中学校施設維持管理事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 義務教育の充実のためには、学校校舎の維持は不可欠であり十分政策体系に結びつく。教育を受ける場所の環境維持であり、意図は十分結果に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 学校設置者の市が行うのは当然である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 学校施設の維持管理の事業であり、成果の向上余地はない。現状を維持していくためには、事業の継続が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 良好な教育環境の維持ができなくなり、義務教育の実施に多大な影響が出る
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 修繕等必要な箇所は、対応しなければならず事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の業務時間である 委託するような業務時間でない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 学校施設の維持管理であり、一部の受益者にかたよるものではない。 受益者負担は取っていない

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
-----------------------------------	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)